

第2回土岐市総合計画審議会 要旨

5月15日（金）
書面会議

I. 開催にあたり

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、書面会議にて開催。

（欠席者）古本尚樹委員

II. 議題

1 中間検証について

令和元年度に実施した各事業について、評価とコメントを聴取

評価・コメントについては別紙一覧

＜主な意見＞

- ・費用対効果分析、効果検証をしっかりと行い、実施内容を見直すこと
- ・事業が住民に浸透していない、若い世代に対しアピールが弱い、周知不足
- ・民間や産業界、学生、行政間との連携した取り組みが必要
- ・新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえて事業を推進すること

2 答申について

賛成多数のため、スケジュールに従い答申作成

III. 今後について

- ・中間検証の意見を集約し、答申書（案）を作成
- ・5月25日から6月8日まで市民からの意見を募集
「第六次総合計画」を公表し、市ホームページ等で意見聴取

第2回 土岐市総合計画審議会（書面会議）

議 題

1. 中間検証について

第六次土岐市総合計画【中間検証】・・・・・・・・・・資料1

2. 答申について・・・・・・・・・・資料2

（その他）

第2回土岐市総合計画審議会 委員報酬について・・・・・・・・資料3

＜提出依頼＞

①第六次土岐市総合計画【中間検証】（A3 15枚）・・資料1

※参考1の手順で参考2を参考にご記入をお願いします。

②答申について・・・・・・・・・・資料2

③（ご希望される方のみ） 口座振替支払申請書

提出期限 令和2年5月15日（金）

同封の返信用封筒にて郵送をお願いします。

（参考資料）

第六次土岐市総合計画中間検証実施手順・・・・・・・・参考1

令和元年度主な実施計画シート・・・・・・・・参考2

第六次土岐市総合計画 実施計画（平成31～33年度）・・参考3

第六次土岐市総合計画 実施計画（前半期）・・・・・・・・参考4

令和元年度第1回総合計画審議会 要旨・・・・・・・・参考5

土岐市総合計画審議会委員名簿

(敬称略・50音順)

役 職	氏 名	備 考
(1)学識経験を有する者	昇 秀樹	名城大学 都市情報学部教授
(2)公募により選出された者	古本 尚樹	公募委員
(3)関係諸団体の代表者	井野 寛義	社会福祉法人土岐市社会福祉協議会
	大島 健太郎	土岐商工会議所
	西川 正義	土岐市連合自治会
	林 万里子	土岐市PTA連合会
	三宅 純一	一般社団法人土岐青年会議所
(4)その他市長が必要と認める者	尾崎 浩之	岐阜県東濃県事務所
	加藤 悟	土岐市教育委員会
	鷺見 直人	副市長

区 分	氏 名	備 考
市長公室政策推進課（事務局）	林 洋昭	市長公室長
	熊崎 直美	政策推進課長
	金子 直哉	政策推進課主幹兼課長補佐
	加藤 智英	政策推進課政策推進係長
	小林 奨	政策推進課主査

議題1 中間検証について

基本目標	施策	事業名	委員A		委員B	委員C		委員D		委員E		委員F		委員G		委員H	
支え合い安心でできる暮らしづくり	健康の増進	1 特定不妊治療費助成事業	継続の実施が必要	「SDGsの位置付け」を入れたのはGood	手法の見直しが必要 助成額が低いのであれば金額を市で負担する位の覚悟が必要である。実際に治療に成功した人、及び現在も治療に専念して見える人のコメントがあってもよい。経済的負担で中止に追い込まれないように救済措置方法の検討と提出書類も簡素化が不可欠。	継続の実施が必要		有効である		有効である	市助成申請率を高める為に指定医療機関(当地域では多治見市)からの通知を毎年要請する。申請率の開示含めて。	有効である	県の助成金を受けた人が同時に市の助成金も申請出来る仕組み作りと書類の作成を考えていただきたい。	有効である		手法の見直しが必要 見識を有しないため印象です。	
		2 健康づくり事業	継続の実施が必要	「SDGsの位置付け」を入れたのはGood	手法の見直しが必要 次年度は早期に実施検討し年度末まで延期した場合には継続性あり、最終的に中止ならやむを得ない。市民の集いと成人式にてクリアファイル配布とあるが皆さんの反応はどのようであったか、費用対効果分析を頂きたい。	継続の実施が必要		有効である		手法の見直しが必要 市民の集いではここ3年間目標値に対して実績値が下回っている為、実施内容を再検討する。周知方法を再検討する事が必要ではないか。	有効である	健康を守る市民の集いに次回参加してみたいと思いました。小中学生にも案内や啓発用クリアファイルの配布はしてみませんか？若い保護者層にもアピールをもっとして良いと思います。	有効である		手法の見直しが必要 見識を有しないため印象です。周知不足。		
		3 健康教育相談事業	継続の実施が必要	「SDGsの位置付け」を入れたのはGood	継続の実施が必要 健康は全ての人の永遠の課題であり、前年度中止となった健康講演会については令和2年度の取り組みとしては是非開催すべきと考える。	継続の実施が必要		有効である		手法の見直しが必要 参加者増加と共に新規参加者の獲得に向けて周知方法を検討する必要あり。	継続の実施が必要	女性の料理教室や糖尿病の家族向け教室、脂肪肝向けの教室なども良いと思います。	継続の実施が必要		手法の見直しが必要		
		4 食生活改善推進員育成事業	継続の実施が必要	「SDGsの位置付け」を入れたのはGood	手法の見直しが必要 食生活改善推進協議会の会員の減少の防止対策として新規に3名の活躍、活動の報告とコメント、又、73名の活躍して頂いている地域ごとの人数の記載を行うべし。	継続の実施が必要		手法の見直しが必要 住民に浸透していないので手法の見直しが必要。	継続の実施が必要 推進員の育成については、そのメリットを再定義して周知を続ける事が必要あり。	継続の実施が必要	周知をもっと若い世代にし、どんだん養成していく必要を感じます。	継続の実施が必要		有効である	印象		
	地域医療の充実	5 病院情報システム構築・更改事業	手法の見直しが必要		手法の見直しが必要 クライアント、予備を含めた総台数は、システムダウンによる昼間帯での影響度の有無は、故障発生率は、ダウンタイムによるデメリットはどの程度か。令和2年4月に土岐市立総合病院と東濃厚生病院とのシステム間の整合性はネットワーク利用による相互の患者様情報の融通性及びハッキング等の防御策の進捗は図られていますか各項目で説明が頂きたい。			有効である	事業終了として有効。	有効である	必要な更改、更新ではあるが、市民満足度を高めるには、同時に利用者が直接触れる部分の情報化、更新を進めていく必要がある。例えば、民間医療機関で取り入れられている様々なオンライン予約システム、待ち時間(人数)表示システムなど。	有効である	これからも更新していけると良いと思います。	継続の実施が必要 どの公立病院においてもこうしたシステム運用・メンテナンスに膨大な費用を支払い、収支を圧迫していると聞いている。またこのコストにメスを入れる公立病院もあると聞いている。短期的には対応不可だが、中長期的な改善は可能か、一度検討するとよいのではないか。	有効である		
		6 核医学診断装置更新事業	手法の見直しが必要		手法の見直しが必要 脳卒中センターの稼働は365日24時間体制での開設は大変と思いますが総人員は何名での稼働か。年間の利用した患者様人数は何名であったかを説明して頂きたい。			有効である	事業終了として有効。	有効である		有効である	脳卒中センターとしてやっていけるように広報していく事も大事だと思います。	継続の実施が必要		有効である	
	子育て支援の充実	7 幼稚園空調整備事業	手法の見直しが必要		手法の見直しが必要 令和2年度においては新型コロナウイルス予防対策としてウイルス除菌能力を有する設備(次亜塩素酸等)の設置がこの事業の延長線上にあると考える。			有効である	事業終了として有効。	有効である	必要な事業であると考えます。	有効である	速い対応ありがとうございます。	有効である		有効である	
		8 子どもの学習支援事業	継続の実施が必要		継続の実施が必要 事業評価シート・事業コード14016の目的の内容文案については変更が必要では、参加人数が6名の市内各町の児童館での内訳はどのようになっていますか。	継続の実施が必要		継続の実施が必要 国の補助金制度は2種類あり、他市は2種類を同時に行っている所が多く、継続しながら見直して行く事が大切。	有効である	継続すべき事業であると思うが、参加の機会を増やすために公文教室など民間の学習塾と提携し、視野を広げてはどうか。	有効である	登校拒否児童の参加も余力があれば出来るともっと良い。	有効である		有効である		有効である
	高齢者福祉の推進	9 高齢者在宅生活支援事業	継続の実施が必要		継続の実施が必要 民生児童委員と土岐市高齢介護課又は土岐市社会福祉協議会との連携方法はどのようにされているのか。緊急通報システム設置及び保守管理はどのよう方法でなされているのか報告を頂きたい。消毒サービスについては条件見直しされるのであれば厳しくしないで簡略化を求め。	継続の実施が必要		有効である		有効である	老々介護や独居高齢者が増えている事が予想される為、周知を継続すべきと考える。	有効である	独居になった時点でどういったサービスを受けられるか？という事を市の方から周知していく必要もあると思います。	有効である		手法の見直しが必要	
		10 美濃焼振興事業	継続の実施が必要		手法の見直しが必要 美濃焼のブランド力向上には匠の存在と技の競演が必要であり新しい作風が感じられるものがあるとも良いと考ええる。良い作品はある程度値段が高くてこそ価値ある製品の良さはわかるとしています。	手法の見直しが必要 展示会出展補助について毎年同じ事業所が出展している状況が続いていると聞いているので将来的に手法の見直しが必要だと思います。	継続の実施が必要		手法の見直しが必要 展示会補助事業については企業の自立を促す意味でも利用出来る期間(3年のみなど)を区切るべきと考える。土岐のくらしのラボ事業は市民の焼き物への関心を高めるのに有効で継続するべきと考ええる。	継続の実施が必要 土岐くらしのラボ事業とても良いと思います。せつかく小中学校にはガス窯があるのでそこから1年に1回ではなく、ろくろで作陶して陶楽もかけ、絵つくりなどもする授業を多くやり、将来陶芸家を目指す子供たちが出来る様な土台作り、未来への確信が必要だと思います。	継続の実施が必要		継続の実施が必要 効果の検証なしに継続すべきではない。知名度、ブランド力が上がってついてもつる技術、人、原材料がなくなつては意味がない。そちらに力を入れるべき。	手法の見直しが必要		効果の検証なしに継続すべきではない。知名度、ブランド力が上がってついてもつる技術、人、原材料がなくなつては意味がない。そちらに力を入れるべき。	

議題1 中間検証について

基本目標	施策	事業名	委員A		委員B		委員C		委員D		委員E		委員F		委員G		委員H	
環境と調和したにぎわいつくり	観光の振興	11 観光PR事業	手法の見直しが必要	ポストコロナにむけて準備が必要。新しい発想で。	手法の見直しが必要	東京に全国から集まった「器の祭典」テーマルウェアフェスティバルで日々生活に彩を添える製品が売れ筋であったかのノウハウを美濃焼から観光に繋がるように「道」を見出して頂きたい。	継続的実施が必要	関係団体(土岐市観光協会主体)に事業展開され徐々に効果が出ていていると思います。商工会議所としてもバックアップを行なっていきたいと思っています。	継続的実施が必要		有効である	観光大使の皆様はとても協力的で市民の認知も高まってきていると考えます。	有効である	アウトレットに来場している方にもっと美濃焼をアピール出来る取組みを強化出来ると思う。美濃焼まつりの人へのアピールもどんどんしていくべきだと思う。	有効である		有効である	印象
		12 観光イベント等助成事業	手法の見直しが必要	ポストコロナにむけて準備が必要。新しい発想で。	手法の見直しが必要	令和2年度は新型コロナウイルスの影響で各イベントが軒並み中止に追い込まれていますが、土岐市市役所のランドオープンに見出した無償いを市民の皆様と「これが一本」となる企画をお願いしたい。	継続的実施が必要		手法の見直しが必要	人手不足の課題があり、内容の見直しが必要。	手法の見直しが必要	同時期開催の陶器まつりは出来るだけ集約して行うのが良いと考えます。	有効である	美濃焼まつりの交通渋滞は等ひどく地元の方がたどりつくのに車で1時間かかったと耳にしました。地元民もバスでか入場出来ない仕組みなども考える必要があると思う。	継続的実施が必要		有効である	印象
		13 観光拠点施設運営事業	手法の見直しが必要	ポストコロナにむけて準備が必要。新しい発想で。	手法の見直しが必要	アトリエときでのロクロは自由に触れたり、粘土も子供に無料でプレゼントし粘土遊びの場所提供もする様な環境も必要と考える。	手法の見直しが必要	入客数、知名度とも今一歩だと思います。東美濃地域の観光協会との連携した取組が有るといい。	手法の見直しが必要	学生とのコラボを活用し、イベント等による客入を増加させる必要がある。	継続的実施が必要	Instagram等で#まちゆいが増えている。イベント開催時にSNS等で情報発信してもらえ様に積極的に働きかけてはどうか。	有効である	テラスゲートも良いがアウトレットでもっと積極的にアピールする出店(ワゴン)なども良いと思う。	手法の見直しが必要		有効である	印象
		14 観光関連団体活動支援事業	手法の見直しが必要	ポストコロナにむけて準備が必要。新しい発想で。	手法の見直しが必要	土岐市の温泉紹介は実体験をしてみてもリアルティを見出して観光協会の各種ホームページに掲載すればいいいねい等の観光協会に訪ねてみてはいかがでしょうか。開催が終了している講演会などについては速やかに切り替えてしニューフェースを提供するべと考える。	継続的実施が必要	土岐市商工会議所観光振興事業と連携した事業展開が必要	手法の見直しが必要	今回の様なコロナ対応のできる活動への見直しが必要。	有効である	観光大使との連携やWEBサイト(スマホ用含む)の情報更新、土岐のくらしラボ等、積極的に活動していると考えます。	継続的実施が必要	観光に来ていただい、満足していただけた様な取り組みが必要だと思います。	手法の見直しが必要	いわゆる「コロナ後」のことも含めて、市の観光施策として見直す必要があると思われる。		有効である
	15 環境センター長寿命化事業	継続的実施が必要		継続的実施が必要	環境センター焼却設備は我々市民にとって直接係る問題点でありゴミの分別はもとより減量化もするべしと思っています。センターにおいてもより一層効率化に励んでさらに延命化を図る策を考察願いたい。	継続的実施が必要		有効である		有効である	ごみ袋有料化でごみ総量も減少している。必要な補修をしっかりと行い、ごみ処理事業を行う体制を作っている。	有効である	ゴミ袋の値上げの時は大変だったと思うが、そのおかげでリサイクルに対する意識が高まり、ゴミの量も減って良かったと思います。	有効である		有効である		
	16 公共交通の充実	市民バス活性化・給合再生事業	手法の見直しが必要		手法の見直しが必要	観光地巡りを可能とするループバスの運行も妥当では。ワークショップで検討され観光資源の有効活用を望みバス利用増加を期待。市民の皆様に乗っていて楽しく親しみやすい市民バスとはを一考をすべき。	継続的実施が必要		有効である	継続的実施が必要	自家用車を持たない方や高齢の方にとって必要な事業であるが、ニーズと供給の一致が難しい。地域交通方式の検証拡充とITを活用した需給率向上を目指す改善が欲しい。	継続的実施が必要	免許証の早期自主返納時にもらえるタクシーチケットやバスの回数券、東鉄さんのバス運賃が半額などの制度の周知をもっとするべきだと思います。本当は免許証を返納しても生活の足に困らない交通網作りが大事だと思います。	有効である		手法の見直しが必要	既存市街地の土地利用の在り方の検討なしに交通は語れない。市街地(兼藩)のあり方の検討(都市計画税をつかって)の中でバスを含めた交通を考えないと解決しない。	
豊かな心と文化を育む人づくり	学校教育の充実	17 小・中学校グローバル人材育成事業	手法の見直しが必要	昔は家庭<学校、今は家庭>学校。学校の環境を家庭並みに。できれば家庭以上にグレードアップしないとい教育はできないと思う。	継続的実施が必要	3名(外国語指導助手)の各校の評価(評判)は知りたい。23校の掛け持ちは厳しく限度を感じています。教方等工夫の周知をして頂きたい。	手法の見直しが必要	外国人と少しでも多くふれあう時間が必要だと思います。	継続的実施が必要		継続的実施が必要	児童の国際感覚を養う上で重要である。一部徒歩で学校へ通う先生もあるので、移動負担軽減する施策も検討してはどうか。	有効である	より身近にALTの先生とふれ合う事で子供たちの国際感覚が増やしてほしいと思います。	有効である		有効である	立場上当然に
		18 コミュニティー・スクール推進事業	手法の見直しが必要		手法の見直しが必要	令和2年度から土岐市14校で学校運営協議会が設置されコミュニティースクール化の取り組みを図る上でスクールの生徒たち自身が地域との関わり方をどのように持とうとしているのか知り得るのも重要である。	手法の見直しが必要	学校間のコミュニケーションをWeb会議を利用出来ると思います。	有効である		有効である	児童と地域の結び付きを強め、健全な郷土愛の育成につながると考えます。	有効である	その地域特有の文化や特色のある内容で学習出来ると思います。	有効である		有効である	立場上当然に
		19 小中学校空調整備事業	有効である		手法の見直しが必要	令和2年度においては全ての教室において換気装置を有しウイルス除菌能力(次亜塩素酸等)を発揮する設備の設置と運用が望ましい。	継続的実施が必要		有効である		有効である	必要な事業であると考えます。	有効である	早い対応設置ありがとうございました。おかげ様で今年のコロナ後学校再開時の夏休み前後のとても暑い時期に授業が出来本当によかったです。	有効である		有効である	立場上当然に
		20 きめ細かな学校支援事業	手法の見直しが必要		手法の見直しが必要	それぞれの支援員は必要と考えるが35人学級サポートティーチャー・学校支援員・アレルギー対応給食支援員・外国人児童生徒適応支援員の全校への配置状況と図書館司書配置の明確化及び連携が必要。	継続的実施が必要		有効である		有効である	外国籍や両親の日本語能力が限られている児童生徒が増えており、引き続き支援が必要と考えます。	有効である	サポートを必要としている生徒が増えていて感じています。学校の先生全体で全生徒を見ていく体制をより強化していただけると思う。	有効である		有効である	立場上当然に

議題1 中間検証について

基本目標	施策	事業名	委員A		委員B		委員C		委員D		委員E		委員F		委員G		委員H	
豊かな心と文化を育む人づくり	学校教育の充実	21 夢の教室事業	継続の実施が必要		継続の実施が必要	前年度10/18土岐津小・サッカー11/7妻木小・プロレス12/3下石小・プロレス12/13泉小・ラグビー・野球12/17駄知小・陸上12/19肥田小・ラグビー1/16泉西小・水泳1/14濃南小・飛込と素晴らしい今年度も願いたい。	継続の実施が必要		有効である		有効である	継続すべきと考えます。スポーツ選手のみではなく、事業を発展させて文化・芸能分野の先生をお呼びしても良いのではないかと。	有効である	夢先生と出会う機会がある事で子供たちの将来への希望の種となっていると思います。とても良い事業なのでぜひ続けていって下さい。	継続の実施が必要		有効である	立場上当然に
		22 小中学校教育相談員設置事業	継続の実施が必要		継続の実施が必要	教育相談員は全14校に配置され活躍されていると思いますが相談内容のグラフ化が必要である。それによりどんな相談があるか把握するべきである。適応指導教育相談員の配置校が全校でないのは不登校等生徒も全校にいないと解釈すればよろしいですか。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である	表面に出にくいじめの問題や心のケアはクラス担当教員に加えて専門相談員、カウンセラーによるケアが必要であると考ええる。	有効である	中学生になると毎年どんどん不登校生徒が増えて男子の20人の内10人が、、という学級もあったりするので、心のケアはとても重要だと思います。ただ生徒との関わりの中でこられるようになるすもいいていろいろな手法を考えてみたいものです。	継続の実施が必要		有効である	立場上当然に
		23 スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業（いじめ・不登校対策）	有効である		継続の実施が必要	教育相談委員相互のコミュニケーション、研修会、講演会参加で資質向上を図って頂き保護者に寄り添い良き相談相手になって頂きたいと期待します。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である	児童がより相談しやすい環境づくりを継続して行うことが重要と考えます。	有効である	不登校になった訳はその子それぞれですが、要因は周りの生徒や友人の保護者が知っている場合もあるので広く聴き取りをするのも良いと思います。	有効である		有効である	立場上当然に
		24 心理検査hyper-GU・NRT検査（全国標準学力検査）	継続の実施が必要		継続の実施が必要	令和2年度においてはこの状況下で第1回目は満足度を示すより不満足度が多いであろうと想定されます。多方面の角度から分析し生徒へのフォローとして頂き、第2回目についてはより良い結果が得られるように努力されたい。	継続の実施が必要		有効である		有効である		有効である	より多くの学年を対象にすることでもっとくわしく分析が出来ると思うので対象の拡大は良いことだと思います。	継続の実施が必要		有効である	立場上当然に
		25 児童生徒能力開花応援事業	継続の実施が必要		手法の見直しが必要	令和2年度の夏休みは8月に10日程度とお断りしています。その状況下実施内容が果たして可能か疑問であり見直しが必要かと思ひます。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である	保護者同伴とする事で保護者の理解も増し、利用希望者増へとつながっている。	有効である	イングリッシュキャンプぜひ参加してみたいですね。昨年申し込もうかと悩みましたが日程が合わなかったのので、1回と言わず2回ぐらいやっていた方がいいかと嬉しいです。今年は厳しいかもしれませんが次年度も継続していただきたいと思っています。	有効である		有効である	立場上当然に
	文化・芸術の振興	26 史跡乙塚古墳附段尻墓古墳保存整備事業	継続の実施が必要		継続の実施が必要	後世にも史蹟・文化財として乙塚古墳附段尻墓古墳は保存すべきである。それが現在我々に残された課題である。今後も周辺の環境を整えて古墳を守っていくべき問題である。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である	貴重な史跡に親しむ機会を維持し、郷土愛の育成にも資する。簡易的でも、駐車場があると良い。	有効である	文化財の保護はとても大切な事業だと思います。	有効である		有効である	当然に
安全で快適な暮らしを支える基盤づくり	消防・救急の充実	27 消防車両整備事業	継続の実施が必要		継続の実施が必要	消防車両の更新は必要不可欠な事業であり消防力低下を防ぐ有効手段であるが車両は高額であり保守点検整備は欠かせない。異常の有無を確認をされていると思いますが今一度のチェックを願いたい。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である		有効である	消防車両の更新は必要な事だと思うので継続してほしいと思います。	有効である		有効である	当然に
		28 消防本部等庁舎維持事業	継続の実施が必要		継続の実施が必要	消防の司令塔でもある本部の空調設備のメンテナンスを日々実施し機能維持に努めて頂きたい。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である		有効である	防災拠点として重要な施設だと思うので継続してほしいと思います。	有効である		有効である	当然に
		29 消防団運営事業	継続の実施が必要		継続の実施が必要	令和2年度、大きな行事である操法大会の中止や今後予想される行事においても同様の経緯を招く事が予想される為、消防団へのより一層のバックアップをお願いしたい。又、団員確保に対し、土岐市各消防団へのキメ細かい配慮と支援に努力を惜しまないで頂きたい。	継続の実施が必要		操法大会、出初式等の見直し、団員へのヘッドライトの支給、団員年齢の拡大と女性団員確保に向けた方針、ポンプ車両の免許等協議。	有効である	消防団については団員数不足が長年の課題であるが、団員のなり手が限られていたり、サラリーマンで日中地元にはいない団員も増えている。消防団と共に町内会、自警団など地域全体の防災力を高める必要がある。	有効である	元氣な高齢者の方にも見守りなど地域の日、顔面としての役割を担っていただけるとありがたいですね。	継続の実施が必要		有効である	当然に	
	駅周辺の整備	30 駅前広場整備事業	継続の実施が必要		手法の見直しが必要	令和2年4月以降も駅前広場整備完了にも関わらず駅前の旧呉服屋跡地北の建物の撤去がされていないと災害発生時に倒壊の恐れがある為、早急に撤去に向けて精力的に行動されたい。市民の皆様はの安心安全に寄与されたい。	継続の実施が必要	駅前広場の整備は出来たが駅前から中央橋までの商店街も整備が必要だと思います。	継続の実施が必要		有効である	駅前広場は信号がついてとても使いやすく安全になりました。ただ駅前通りの寂しさはただならぬものがあります。他県から来た方に心配されたほどです。駅前通りの活性化が課題だと思います。若い世代のチームに託すのも良いかもしれません。	有効である		有効である	周辺整備につなげていくことが必要		

目標	施策	事業名	委員A		委員B		委員C		委員D		委員E		委員F		委員G		委員H	
安全で快適な暮らしを支える基盤づくり	道路・河川の整備	31	橋梁整備事業	継続の実施が必要	継続の実施が必要	土岐市で管理する橋梁は約350橋余りであると聞き及んでいます。日々点検補修で構っていますが年数を経過すれば修理・改修が必要となる。地域住民に工事実施による通行止め等の重要性を説明し配慮をして頂いた後、効率的な工事に着手して頂きたい。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である		有効である	川に囲まれている家も多いので橋の補修等は大切な事だと思います。これからも継続して計画的にやっていたら良いと思います。	有効である		有効である	
		32	土岐口開発に伴う周辺道路新設事業	継続の実施が必要	継続の実施が必要	土岐アウトレット北交差点から中山狐山周辺土地利用のイオンモール建設予定地650mを結ぶアクセス道路の完成後の造成完了予定が本年11月予定であり、開業時期はこのような状況下のように推移するか伺っておきたい。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である		有効である	スムーズに利用出来るように渋滞対策などを良く考えていただけたらと思います。緊急車両専用の道路作成なども検討していただけたら良いと思います。	有効である		有効である	
		33	肥田川改修関連事業	岐阜県事業のため評価なし		岐阜県事業のため評価なし		岐阜県事業のため評価なし		岐阜県事業のため評価なし		岐阜県事業のため評価なし		岐阜県事業のため評価なし		岐阜県事業のため評価なし		岐阜県事業のため評価なし
	上下水道の整備	34	配水施設改良事業	継続の実施が必要	継続の実施が必要	水道の基本方針「信頼される水道でありつづけるために」基本方針・強靱・安心・持続とあり方針毎に水道設備の更新等や、水質管理等・財政基礎の強化等とあり、各方針で事業推進をするべきであるが用地買収や土壌汚染問題の早期の解決を図り市民の皆様に安心安全を届けるよう努力して頂きたい。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である	施設後、相当年月が過ぎ、設備の更新、長寿化が多くなってくる。大規模更新を先送りして断水や事故とならない様、計画的に取組む必要がある。	有効である	水道は大切なライフラインの1つだと思います。工事は大変だとは思いますが、積極的に取り組んでいただけたら良いと思います。	有効である	こうした事業は一見地味ではあるが、市民生活維持に必要不可欠なものであることから、 耐震化、老朽化、劣化など具体的な数値を市民に示して、事業の必要性を大いにアピールしていく必要があると思われる。 (市民の目には見えにくいものなので)	有効である	基本です
		35	公共下水道事業	継続の実施が必要	継続の実施が必要	近年の甚大なる台風被害や大水害に耐えうる下水管管路の増設や瞬間的大雨量の一時蓄えるべき設備の構築も急がれるべきと考える。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である	下水道、処理場の耐震化率が共に低く、計画的な更新改修が必要である。	有効である	何年か前に下水のマンホールを開けて掃除をするトラックが何台も作業しているのを見ました。とても大変な作業をする方がいるのだと感心し感謝したいと思いました。継続していく必要があると思います。	有効である	(市民の目には見えにくいものなので)	有効である	用途地域との整合は必要
		36	下水道管路施設長寿命化事業	継続の実施が必要	継続の実施が必要	下水道については昭和49年度着手以来、市街地を中心に広げ現在に至っていると考え、下水道管の更新を早急に押し進めることが必要である。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である		有効である	これからも継続していく必要があると思います。	有効である	こうした事業は一見地味ではあるが、市民生活維持に必要不可欠なものであることから、 耐震化、老朽化、劣化など具体的な数値を市民に示して、事業の必要性を大いにアピールしていく必要があると思われる。 (市民の目には見えにくいものなので)	有効である	基本です
	住環境・街並みの整備	37	都市計画基本図作成及び基礎調査事業	継続の実施が必要	継続の実施が必要	現状の土岐市都市計画マスタープランは平成29年に一部改正したもの今後作成するマスタープランに盛り込まれる市民アンケートの内容によっては基礎部分が安定しないため精査する必要がある。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である		有効である	現状分析と構想の見直しは大切 だと思います。これからも継続してほしいと思います。	継続の実施が必要	有効である	区域区分に生かしてほしい	
		38	妻木南部土地区画整理支援事業	継続の実施が必要	継続の実施が必要	妻木南部土地区画整理事業は平成20年の準備委員会を経て平成23年度より平成30年度までの事業とされ推進されていますが一部の理解を得つつ良い方向に進んでいるか進捗率を示す必要がある。妻木平道跡発掘調査が実施されていますが、調査内容の公表をここに提示すべきである。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である		有効である	これからも継続してほしいと思います。	継続の実施が必要	困難なことと思われるが、引き続き地権者等への理解促進に努められ、事業の円滑な進捗を望みたい。	有効である	
	公園・緑地の整備	39	公園施設安全・安心対策事業	継続の実施が必要	継続の実施が必要	公園の数が多い都市公園の維持管理は子供達の笑顔の源、エネルギーを発散し安心安全が求められている場所ですが昨年度は公園の整備、遊具の更新が行われていますが、今後予定されている事業の完了までの年数が気になるところです。	継続の実施が必要		国の管理基準があいまいと考える。点検業者の基準も見直しが必要。	有効である	整備計画通りに国費を確保出来ない場合は、まず危険な遊具、施設の撤去のみ行うなど、効率的な整備を行う事が必要。	有効である	安全に遊べるように点検や更新をしていただきたいと思います。	有効である			手法の見直しが必要	公園が適正誘致距離内にならない市街地が多い。配置の見直しが必要(維持、管理、都市計画視で、方法を含め)。

議題1 中間検証について

基本目標	施策	事業名	委員A		委員B		委員C		委員D		委員E		委員F		委員G		委員H	
協働の仕組みづくり		40 まちづくり活動支援事業	手法の見直しが必要		継続の実施が必要	街づくり活性化の推進にあたって市役所ランドオープンで市民が主体となったワークショップであり有意義、市民の皆様が集う場所として必要であり、7つのワークショップが有効手段であるならば、衰退しないよう努力を惜しまないようにされるべきである。プラス1のラポとして市民協働を考えるは市職員の在り方は大変有意義と考える。	継続の実施が必要	会議所としてもまちづくり事業として取組をしているので 連携 を取りながら出来ると良いと思います。	継続の実施が必要	横の組織との連携が必要 であり、多くの市民の理解と参加が最も大切、見直しも大切である。	有効である	市民の能動的参加を促すことは協働のまちづくりに必要不可欠であると考ええる。	有効である	まちづくりは市民が参加してやるべきだと思うので、これからも継続してやっていただきたいと思います。	継続の実施が必要		手法の見直しが必要	現在の行政(市)の仕事の多くは、市民でできる。抜本的に見直したい。
	協働まちづくりの推進	41 定住促進奨励事業	手法の見直しが必要		手法の見直しが必要	この制度利用に関して対象となる方、手続きに複雑で書類も住民票の写し(世帯全員)からは始まり多岐、複雑であり簡素化が出来るようにするのと同時に定住促進奨励金の更なる増額が必要である。	継続の実施が必要		手法の見直しが必要	他市も参考に見当。	手法の見直しが必要	過去の移住者の属性(どこからの移住)を考慮して効果的なPR をするべきと考える。	継続の実施が必要	これからも継続してやっていただきたいと思います。手法の見直しもありだと思います。	手法の見直しが必要	「人口減少を抑止しなければ」という流れで、どの自治体でもこうした施策を設けていると思われる。しかし、今やほとんどの自治体において、「人口減少を前提として受けとめるが、経済的な縮小を回避するにはどうしたらいいか」という視点で施策を進める時期に来ていると思われる。	有効である	空き家バンク活用事業と 連携
		42 空き家バンク活用事業	手法の見直しが必要		手法の見直しが必要	空き屋バンク制度を活用してリフォーム補助金を申請しようとしても条件や提出する書類にも費用が嵩むようでは利用促進の妨げではないでしょうか。情報提供だけでなく最後のリフォームまで見届けるべきではそれが行政のあるべき姿と思います。	継続の実施が必要		手法の見直しが必要		継続の実施が必要	登録件数を増やす為、不動産会社やリフォーム会社への周知 に力を入れるべきと考ええる。	継続の実施が必要	空き家が全国的に増えている中でこれからも継続していく必要があると思います。 周知も必要 だと思います。	手法の見直しが必要		有効である	定住促進奨励事業と 連携
		43 婚活イベント支援事業	手法の見直しが必要		手法の見直しが必要	補助金制度でイベントを支援するのも一考と考えますがワークショップとして市側が開催する方向性も可能ではないでしょうか。	継続の実施が必要	婚活イベントによるカップル成立後のてん末はどうなったか？(結婚まで行けたのか)	継続の実施が必要		手法の見直しが必要	補助金申請団体を増やす為に 市内各団体に主催を打診 する。瑞浪市との連携により告知効果は増したが、土岐市においても事業が行われるのがバリエーションが良い。	有効である	まだまだ身近に結婚出来ない方が多くみえます。いい婚活になるようにまず参加してもらえようという 周知 し、多治見市や可児市など近隣 地域全体 で町ぐるみ市ぐるみで応援していけると良いと思います。	継続の実施が必要		有効である	
	適正な行政経営の推進	44 新庁舎建設事業	有効である		有効である	新庁舎同様職員皆さんの新たな気持ちで市民の皆様の希望に答えるべき道を探して行くようにぜひお願いします。			有効である	事業終了として有効。	有効である	新庁舎イベントが一巡した後市民が利用に積極的である事が重要。まず市内の活動団体等に利用についてPRし、利用件数の上積みを図るべきと考える。	有効である	旧庁舎の暗いイメージから新庁舎の明るいイメージになり、耐震の面などの不安もなくなり良かったと思います。	有効である		有効である	
	防犯の強化	45 土岐市空家等対策事業	有効である		継続の実施が必要	現在、前年度11件のうち2件は取り壊し済、2件本年度取り壊し中で後、7件であるが新たな空き家となった件数はまた、予防策が講じられる事前策とは、略式強制代執行を行うような住居の存在の有無は。市民の皆様様の安心安全防火防犯対策に一助と考えます。	継続の実施が必要		継続の実施が必要		有効である	防犯、防火面も含めて警察、消防と連携し、所有者の自主的除去を促すべきと考える。	有効である	危険度の高い空家の除去などに力を入れていただきたいと思います。空き家を除去するための費用の補助や無料相談会の 周知 などを 積極的 にやっていただきたいと思います。	有効である		有効である	

施策		事業名	事業課	質問事項	回答
健康の増進	4	食生活改善推進員育成事業	保健センター	食生活改善推進協議会の会員73名の地域ごとの人数。	R2年度の会員は66名です。 地区は4地区で構成されており、土岐津(妻木下石)地区17名、肥田(駄知)地区19名、泉地区14名、泉西地区16名となります。
地域医療の充実	5	病院情報システム構築・更改事業	総合病院総務課	クライアント、予備を含めた総台数は、システムダウンによる昼間帯での影響度の有無は、故障発生率は、ダウンタイムによるデメリットはどの程度か。令和2年4月に土岐市立総合病院と東農厚生病院とのシステム間の整合性は。ネットワーク利用による相互の患者様情報の融通性及びハッキング等の防禦策の進捗は図られていますか各項目で説明が頂きたい。	別紙参照
	6	核医学診断装置更新事業	総合病院総務課	脳卒中センターの稼働は365日24時間体制での開設は大変と思いますが総人員は何名での稼働か。年間の利用した患者様人数は何名であったかを説明して頂きたい。	別紙参照
子育て支援の充実	8	子どもの学習支援事業	子育て支援課	参加人数が6名の市内各町の児童館での内訳はどのようになっていますか。	現状はウエルフェア土岐で6名行っております。
高齢者福祉の推進	9	高齢者在宅生活支援事業	高齢介護課	民生児童委員と土岐市高齢介護課又は土岐市社会福祉協議会との連携方法はどのようにされているのか。緊急通報システム設置及び保守管理はどのような方法でなされているのか報告をして頂きたい。	民生委員の方に70歳以上の独居の方の情報をもらい、緊急通報システムの設置を推奨しています。設置、保守管理については業者に委託しています。
学校教育の充実	17	小・中学校グローバル人材育成事業	教育総務課	3名(外国語指導助手)の各校の評価(評判)は知りたい。	3名とも明るい性格なので児童・生徒からの評判は良いです。
	22	小中学校教育相談員設置事業	教育研究所	教育相談員は全14校に配置され活躍されていると思いますが相談内容のグラフ化が必要である。それによりどんな相談があるか把握するべきである。適応指導教育相談員の配置校が全校でないのは不登校等生徒も全校にいないと解釈すればよろしいですか。	教育相談員は全14校に配置しており、いじめ、不登校の児童・生徒に対し教育相談を行っております。 適応指導教育相談員はいじめ、不登校の相談以外に、外国人児童・生徒や児童・生徒数が多い学校など特に支援が必要な学校に配置しております。
駅周辺の整備	30	駅前広場整備事業	都市計画課	令和2年4月以降も駅前広場整備完了にも関わらず駅前の旧呉服屋跡地北の建物の撤去がされていなくて災害発生時に倒壊の恐れがある為、早急に撤去に向けて精力的に行動されたい。市民の皆様の安心安全に寄与されたい。	担当課としても把握しており、強制撤去も視野に入れて動いています。
道路・河川の整備	32	土岐口開発に伴う周辺道路新設事業	土木課	土岐アウトレット北交差点から中山鉱山周辺土地利活用のイオンモール建設予定地650mを結ぶアクセス道路の完成後の造成完了予定が本年11月予定であり、開業時期はこのような状況下どのように推移するか伺っておきたい。	3月に工事が完了し、11月に供用開始予定です。イオンモールの開業時期は2022年以降になると聞いています。

<病院情報システム構築・更改事業の質問>

- クライアント、予備を含めた総台数

昨年の実施計画にある医療情報システム（電子カルテ、医事会計）のクライアント、予備の総数は344台です。

- システムダウンによる昼間帯での影響度の有無

クライアント端末がダウン（故障）した場合には、クライアント端末を交換等するまでの間は当該クライアントを使用している診察科の診療業務がストップします。それにより診療が遅れてしまいます。

サーバがダウンした場合はシステム全体が使用できなくなるため、外来診療時間帯であれば紙カルテによる運用に切り替えなければならず、外来診療は大幅に制限せざるを得なくなります。

- 故障発生率

クライアント端末の故障発生は、令和元年9月に更新する前までの6か月間で42件、月平均7件でしたが、更新後は10月に初期不良3件あった以外は発生していません。

- ダウンタイムによるデメリットはどの程度か

ダウンタイムのデメリットとしては、クライアント端末のダウンであれば上述のとおり患者様への診療が遅れてしまうというデメリットがあります。

各部署への検査等の依頼なども電子カルテを介して行っているため、検査の実施についても遅れることになります。

- 令和2年4月に土岐市立総合病院と東濃厚生病院とのシステム間の整合性は

ネットワーク利用による相互の患者様情報の融通性及びハッキング等の防禦策の進捗は図られていますか

今回の指定管理者制度への移行に伴う両病院の病院情報システムの整合は図っていません。それにより患者情報の共有化等を行っていませんが、将来の統合一院化においては双方の病院情報システムの統合と患者情報の一元化は必須であります。

<核医学診断装置更新事業の質問>

- 脳卒中センターの稼働は365日24時間体制での開設は大変と思いますが、総人員は何名での稼働か

通常診療時間外である休日・夜間の患者受け入れは、脳神経外科医、診療放射線技師、臨床検査技師及び看護師の複数名による当直または緊急呼び出しによる診療体制で稼働しています。

- 年間の利用した患者人数は何名であったかを説明して頂きたい

令和元年の脳血管疾患患者の救急搬送件数は201件でした。

第六次 土岐市総合計画【中間検証】 基本目標：支え合い安心できる暮らしづくり（健康・福祉）

◆ 施策1 健康の増進 市民一人ひとりが健康で充実した暮らしを実感できるよう、健診・相談体制の充実、市民の健康意識の高揚を図るなど健康増進活動に取り組みます。

指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観 市民意識調査 『健康の増進』の満足度	%	37.6	41.7	25.3	37.6	39.1
客観 健康を守る市民の集い 参加者数	人	1,200	1,250	1,360	1,370	1,380
		1,200	1,350	1,260	1,260	1,280
客観 食生活改善推進員学習会 参加者数	人	380	380	380	380	380
		357	386	369	373	346

※数値上段：年度目標値／下段：実績値

SDGsの位置付け



主な事業名	実施内容	担当課の評価（R2年度へ向けて）	評価	コメント
事業開始年度 R1年度事業費				
特定不妊治療費助成事業	●市の助成申請は、県の助成を受けたことが必須条件 1回5万円：採卵を伴う治療 1回2.5万円：採卵を伴わない治療、採卵したが中止したもの 申請者46人のうち、5万円治療22人、2.5万円治療24人 H30年度、県助成を受けた方のうち、市助成申請をした人は76.5% 周知方法はホームページ、広報、県助成申請者へ市の助成を紹介	保健センター 内容を見直して継続 高額な医療費がかかる特定不妊治療に要した費用の一部を助成し、経済的な負担を軽減することを目的とした事業であり、継続して実施していくことが適当である。 県内他市町村と比べて助成額が低いので助成額を倍増する。	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H27～ 3,375千円				
健康づくり事業	●健康を守る市民の集い 脳年齢測定、動脈硬化チェック、超音波骨密度測定など測定を行い健康啓発「8020表彰」80歳以上で自分の歯が20本以上ある人を表彰する78人 参加者：1,280人 満足度：96% リピーター率：64% ●健康を考える映画会 タイトル「あん」 テーマ「感染症を正しく理解して予防しよう」 3月開催予定→新型コロナウイルスの影響で中止 ●こころの体温計（インターネットで利用できるストレス度チェック） いつでも、どこでも、ストレス状況や落ち込み度を確認 アクセス件数月平均782件、市民の集いにて啓発用クリアファイルを1,500部配布	保健センター 現状のまま継続 市民の健康づくりに対する意識を高めるとともに、自己の健康管理をする習慣を身に付けられるきっかけとなる事業であり、継続して実施していくことが適当である。	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
S49～ 3,965千円				
健康教育相談事業	●相談 ・健康相談 月1回 保健師・管理栄養士等による相談、血圧測定、尿検査 ●教室 合計37回 延べ428人参加 (主な教室)・骨粗しょう症予防教室 骨密度測定、管理栄養士の講話 ・男性の料理教室 バランス食と食習慣の話、調理実習 ・歯周病予防教室 歯科検診、歯科医師の講話、歯磨き指導	保健センター 内容を見直して継続 健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病予防に関する取り組みは重要であり、継続して実施していくことが適当である。参加者を増加させるため、開催内容、開催方法、また周知についての検討に努める。	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
888千円				
食生活改善推進員育成事業	●食生活改善推進員の養成(栄養教室の開催)年7回 健康づくりについて調理の基礎、年代別食育などの講話、実習 受講者のうち3名会員として活動 ●食生活改善推進員学習会の開催 延べ346名参加	保健センター 内容を見直して継続 地域における健康づくりを進めていくために、食生活改善活動は継続してして実施していくことが適当である。担い手となる食生活改善推進員の減少が課題であり、新たな推進員の育成に取り組む必要がある。	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
S56～ 844千円				

★ R2年度重点事業

主な事業名	予定事業費	事業目的	実施内容
全世代健康寿命延伸事業 (健康づくり、健康教育相談 健康診査、食生活改善)	151,671千円	子どもから高齢者まですべての世代が健やかな生活習慣を形成し、自ら運動や社会活動に取り組み、より長く元気に活躍できる環境をつくり、市民の健康寿命をのばす。	●オリジナル体操の作成・普及 知見を有する大学の監修のもと、健康づくりに有効な体操を作成幼稚園、保育園、こども園でオリジナル体操で運動あそびを実施 ●はつらつ元気塾、サポーター養成 栄養、口腔に関するフレイル予防講座を開講 ●健康を守る市民の集い 他

第六次 土岐市総合計画【中間検証】 基本目標：支え合い安心できる暮らしづくり（健康・福祉）

◆ 施策2 地域医療の充実 市民が地域で安心して適切な医療を受けられるよう、医療機関との連携のもと、地域医療の充実を図ります。

指標名		単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観	市民意識調査 『地域医療の充実』の満足度	%	24.4	27.1	14.0	17.7	19.4

※数値実績値

SDGsの位置付け



主 な 事 業 名		実 施 内 容	担 当 課 の 評 価 (R2年度へ向けて)		評 価	コ メ ン ト
事業開始年度	R1年度事業費					
病院情報システム 構築・改修事業		●平成22年度に導入した病院情報システム(電子カルテを含む医療システムの総称)についてシステムダウンしない安全で安定したシステムを提供するための更改 電子カルテシステム ・端末更改(クライアント) 部門システム更改 文書管理、総合健診システム 周辺機器及び関連部門システム ・ネットワーク関連機器	総合病院総務課	事業終了	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			平成31年度に実施予定であったシステム改修事業は、すべて計画通り完了した。本年度事業の成果としては、新たな病院情報システムに更改されたことで、引き続きの同システムのメンテナンス保守が可能となり、より安心で安定的なシステムとなり、土岐市立総合病院を利用する患者様に対して、より良い医療の提供ができるようになった点が挙げられる。			
H26～	176,000千円					
核医学診断装置更新事業		●平成11年に核医学診療棟を増設し導入した核医学診断装置は、地域医療の技術水準をリードする高度な治療・診断システムとして、他の検査では困難な脳血管の循環予備能や治療効果判定等を行う重要な装置であるが、設置後20年が経過し、装置本体の維持管理や部品調達が困難となったため更新	総合病院総務課	事業終了	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			核医学診断装置更新事業は、予定とおり完了した。本事業により、脳卒中センターとして当院が受け入れる脳疾患患者等への安定した検査が行われ、土岐市立総合病院を利用する患者への安心安全な治療を引き続き提供することが可能となった。			
H31～	88,000千円					

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：支え合い安心できる暮らしづくり（健康・福祉）

◆ 施策3 子育て支援の充実 家族や地域が子どもを安心して育てられるよう、総合的な子育て支援施策と児童の健全育成に取り組みます。

指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観 市民意識調査 『子育て支援の充実』の満足度	%	22.2	27.3	18.5	25.0	27.2
客観 年少人口(15歳未満) (各年度3月31日時点)	人	7,237	7,110	7,027	6,942	6,762

※数値実績値



主な事業名	実施内容	担当課の評価(R2年度へ向けて)	評価	コメント
事業開始年度 R1年度事業費				
幼稚園空調整備事業	●幼稚園(保育室・遊戯室)の空調整備 幼稚園は7月下旬から8月まで夏休み期間となるが、近年は6月から30℃を超える状況であり、9月上旬も30度を超える日が続いているため、熱中症予防をはじめ安心安全な教育・保育を提供できるようにする H29年度に道路に面し、空気の通りの悪い土岐津幼稚園の保育室を先行実施	子育て支援課 事業終了	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H27～ 44,333千円				
子どもの学習支援事業	●社会福祉協議会への委託事業で、ひとり親家庭の小学4年生～6年生の参加希望者に対し、市民等の学習支援ボランティアにより学習支援事業を実施(11月より)市内児童館・児童センターを活用し、土曜日の午前中・月3回程度(年間40回)学習支援ボランティア6人参加児童人数6人	子育て支援課 内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H31～ 1,100千円				

◆ 施策4 高齢者福祉の推進 高齢者が生涯にわたり安心・安全で自立した生活を維持し、住み慣れた家庭や地域社会で、いきいきと暮らすことができるよう、総合的な高齢者施策を行います。

指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観 市民意識調査 『高齢者福祉の推進』の満足度	%	22.0	24.7	17.7	20.1	21.6
客観 緊急通報装置設置済台数	台	607	610	650	650	650
		602	643	677	625	619

※数値上段:年度目標値/下段:実績値



主な事業名	実施内容	担当課の評価(R2年度へ向けて)	評価	コメント
事業開始年度 R1年度事業費				
高齢者在宅生活支援事業	70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に実施 ●緊急通報装置の購入・設置 本人所有の電話器に緊急通報装置を設置することにより、緊急時に消防署と直接連絡が取れるようになり、速やかに救急・援助を行うことが可能。 新規64台(うち新規購入27台、中古使用37台) 既設置機器の保守管理 2～3月 143台 ●寝具類洗濯乾燥消毒サービス 寝具類の衛生管理が困難な方を対象に、洗濯乾燥サービスを行い、保健衛生の向上を図る。 8～10月実施 利用者386人	高齢介護課 内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H5～ 9,978千円				

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：環境と調和したにぎわいづくり（経済・環境）

◆ 施策5 陶磁器産業の振興 陶磁器産業の振興のために、産業基盤の強化を図るとともに、美濃焼のPR強化や更なる販路拡大等を行います。

指標名		単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観	市民意識調査 『陶磁器産業の振興』の満足度	%	24.6	29.6	21.1	26.6	25.7
客観	窯業・土石製品製造業 製造品出荷額	億円	—	—	570	580	590
			—	579 (H26)	—	702 (H28)	—

※数値上段：年度目標値／下段：実績値

SDGsの位置付け



主 な 事 業 名		実 施 内 容	担 当 課 の 評 価 (R2年度へ向けて)		評 価	コ メ ン ト
事業開始年度	R1年度事業費					
美濃焼振興事業		●陶磁器関連展示会出展補助および支援 名古屋、東京、仙台、福岡の展示会の出展料補助 ●美濃焼振興意見交換会 オープンファクトリー(工場見学)の実施 美濃焼の分業を知っていただくために窯元だけでなく、釉薬屋、型屋、原料屋が参加しオープンファクトリーを今年度初めて実施 6社参加 ●「土岐くらしのラボ」事業の実施 4か月児健診を受診した子供に、「はじめての『美濃焼おめでとう』セット」を贈呈 (セット内容) ・「美濃焼すりばち」 ・「すりばちレシピ」 ・「陶育絵本みてみておちやわん」 ・「小、中学生らが作成した折り紙メッセージ」	美濃焼振興室	現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続の実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
	H27～		21,515千円			

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：環境と調和したにぎわいづくり（経済・環境）

◆ 施策6 観光の振興 市民や来訪者が本市の魅力を満喫できるよう、美濃焼をはじめとする産業・文化・歴史資源を活かした観光、温泉を有効活用し、自然や景観を活かした観光の振興を図ります。

指標名		単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観	市民意識調査『観光の振興』の満足度	%	16.7	20.9	13.0	20.2	19.0
客観	観光入込客数（総数）	千人	7,659	7,700	9,725	9,780	9,835
			9,691	9,672	9,626	9,260	
客観	観光入込客数（アウトレット除く）	千人	2,265	2,287	2,363	2,391	2,418
			2,333	2,337	2,500	2,511	2,363
客観	イベント来場者数	千人	664	671	500	524	547
			496	431	419	509	364

※数値上段：年度目標値／下段：実績値

SDGsの位置付け



主 な 事 業 名		実 施 内 容	担 当 課 の 評 価（R2年度へ向けて）		評 価	コ メ ン ト
事業開始年度	R1年度事業費					
観光PR事業		土岐市観光振興計画に基づいた各種施策を実施 ●「麒麟がくる」関連事業 各地域、団体と連携して岐阜県の魅力を発信 イベント出展、リーフレット作成 明智光秀AI協議会 ゆかりのある全国各自治体14団体と連携して情報発信 動画制作・放映、雑誌広告、駅北PR看板、カラー名刺作成 ●観光大使事業 土岐市織部まつりにおいて観光大使3名によるトークショーを開催 東京ドーム開催「テーブルウェアフェスティバル2020」において神奈月氏によるトークショーをし土岐市の魅力を発信	産業振興課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続の実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			観光振興のため、情報を発信することは重要である。 PR活動を複合的にを行い効果を高める必要がある。			
H28～	11,945千円					
観光イベント等助成事業		●各イベントへ補助金を交付し支援 （主なイベント、来客者数） 土岐美濃焼まつり140,000人 土岐市織部まつり61,000人 土岐市美濃焼まつり22,000人、だち窯やまつり15,000人、定林寺まつり8,000人 だちどんぶりまつり10,000人、あかりのタペ2,200人、曾木もみじライトアップ39,000人 下石どえらええ陶器祭り20,000人	産業振興課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続の実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			各種団体が実施するイベントに対する支援は有効である。各種団体が一体となってイベントを実施するなど連携をとる必要がある。			
H28～	14,400千円					
観光拠点施設運営事業		●補助金交付 「テラスゲート土岐まちゆい」内の「土岐たび案内所」、「ギャラリーとき」、「アトリエとき」の管理運営費	産業振興課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続の実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			観光振興のため継続的に支援することは必要である。観光入込客数が減少しているので、実施事業を見直していく必要がある。			
H28～	16,638千円					
観光関連団体活動支援事業		●補助金交付 土岐市観光協会に対し、土岐市観光協会の運営及び活動支援	産業振興課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続の実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			観光振興、まちづくりのため活動を継続的に支援することは必要である。観光入込客数が減少しているので、実施事業を見直していく必要がある。			
H28～	15,820千円					

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：環境と調和したにぎわいづくり（経済・環境）

◆ 施策7 廃棄物処理・リサイクルの推進 市民や事業者と市が一体となって、廃棄物の効率的な処理を進め、ごみの減量化や再資源化に取り組むことにより、循環型社会の構築を図ります

指標名		単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観	市民意識調査 『廃棄物処理・リサイクルの推進』 の満足度	%	28.1	45.8	35.4	33.7	39.6

※数値実績値



主 な 事 業 名		実 施 内 容	担 当 課 の 評 価 (R2年度へ向けて)		評 価	コ メ ン ト
事業開始年度	R1年度事業費					
環境センター長寿命化事業		●焼却施設は稼働開始後28年を迎え、平成23年度から平成42年度までの長寿命化計画を策定し計画と現状を検証しつつ大規模工事・設備更新工事を行う。 ・2号炉定期整備工事 ・2号炉BF交換工事 ・共通設備定期メンテナンス工事 ・主灰出しコンベア更新工事 ・最終処分場残容量調査	環境センター	現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			廃棄物処理は市民直結の事業であり、引き続き、適切な管理を実施することにより、施設の長寿命化を図り、円滑な業務の推進を図る必要がある。			
H28～	11,945千円					

◆ 施策8 公共交通の充実 市民バスの適正運行を推進するとともに、バスや列車の運行本数等の充実を関係機関に働きかけ、公共交通機関の充実を図ります。

指標名		単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観	市民意識調査 『公共交通の充実』の満足度	%	17.2	19.4	13.1	15.7	17.4
客観	市民バス利用者数 (デマンドタクシーを含む)	人	—	—	85,000	85,000	85,000
			—	—	87,404	87,920	88,788

※数値上段:年度目標値/下段:実績値



主 な 事 業 名		実 施 内 容	担 当 課 の 評 価 (R2年度へ向けて)		評 価	コ メ ン ト
事業開始年度	R1年度事業費					
市民バス活性化・ 総合再生事業		●移動ニーズに対応した公共交通ネットワークを構築し、使いやすい公共交通を提供することにより、移動手段を確保し、外出機会を創出 ・市民バス運行 10月よりダイヤ改正 ・デマンド運行 6月から地域交通「だちどんぶりバス」の運行スタート ・協議会開催 ・路線の見直し ・広報PR 高校通学案内、福祉まつりブース出展	産業振興課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			駄知町で導入した地域交通は、地元の利用者のニーズが反映されたものとして、有効であった。一方で民間路線バスは市内を運行する全ての路線が赤字であり、令和2年4月からの大幅な減便となる。市民バスや地域運行バスからの乗り継ぎの促進など、民間路線バスとの連携を図り、路線の確保が必要である。			
H28～	52,732千円					

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：豊かな心と文化を育む人づくり（教育・文化）

◆ 施策9 学校教育の充実 市民一人ひとりが健康で充実した暮らしを実感できるよう、健診・相談体制の充実、市民の健康意識の高揚を図るなど健康増進活動に取り組みます。

指標名		単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観	市民意識調査 『学校教育の充実』の満足度	%	24.3	27.0	19.5	23.4	23.4
客観	普通教室冷房化率	校	—	—	—	—	14.0
			—	—	—	—	14.0
客観	アレルギー対応食対象 児童生徒数に対する支援率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※数値上段:年度目標値/下段:実績値



主 な 事 業 名		実 施 内 容	担 当 課 の 評 価 (R2年度へ向けて)		評 価	コ メ ン ト
事業開始年度	R1年度事業費					
小・中学校グローバル 人材育成事業	15,582千円	●外国人英語指導助手(ALT)の派遣 市内23校(小学校8校、中学校6校、幼稚園7校、濃南こども園、浅野教室)に派遣し、 児童生徒や園児が外国人と直接に接する学習や活動を通して、生きた英語を学ぶと共に、 より豊かな国際感覚を身に付けることを目的 ●図書館での読み聞かせ事業にALT派遣 英語と日本語による大型紙芝居の読み聞かせ 参加者22名	教育総務課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			ALT(外国語指導助手)を各学校、園に派遣し、児童生徒や園児が外国人と直接に接する学習や活動を通して生きた英語を学ぶと共に、より豊かな国際感覚を身に付けることができているが、より多くの訪問に対応するためALTを増員して継続することが適当である。			
コミュニティスクール 推進事業	H30～ 900千円	●コミュニティスクール化 全小中学校に学校運営協議会を設置し、学校と地域との連携体制を構築 妻木小学校、肥田中学校の2校を先進校として実施 「地域」と「学校」とで意見交流し一緒に子どもを育てることを目的に協働活動(妻木小学校の例) 地域指導者を招いて学習 1年生:昔の遊び(あやとり) 2年生:野菜作り 3年生:折り紙、昆虫教室 4年生:合唱 5年生:地域産業(抹茶)体験 6年生:妻木の歴史学習 R2年度から14校で学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールを推進	教育総務課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			これまで、小・中学校それぞれ1校を先進校として指定し、土岐市版コミュニティスクール事業の取組を進めてきた結果、学校と地域が一体となって地域人を育成することに成果が出ており、土岐市内全ての小中学校での取組に内容を改め、継続することが適当である。			
小中学校空調整備事業	H31～ 50,000千円	●普通教室のエアコンの整備 土岐津小、下石小、妻木小、濃南小、駄知小、肥田小、泉西小 土岐津中、西陵中、濃南中、駄知中、肥田中、泉中 泉小は整備済	教育総務課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			全ての小中学校普通教室への空調設備の整備により、子どもたちに夏季期間における快適な教育環境を提供することが可能となった。次年度以降は、内容等を見直し、特別教室への空調設備の整備を継続していくことが適当である。			
きめ細かな学校支援事業	H25～ 55,669千円	●35人学級サポートティーチャー 35人学級編成にし児童生徒数を減らすことにより、一人一人へのきめ細かな支援を行うことができ、学力をより定着させたり、生徒指導上のトラブル発生を軽減できる ●学校支援員 特別な支援や学習支援が必要な児童生徒に、個別の支援を行い、個々の力をのばす	教育総務課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			学校支援員の配置により、学習支援や生活支援などきめ細かな学校支援を行うことができている。一方で、子どもたちの読書率や図書館利用率の低下が顕著であり、子どもたちの読書活動を推進するために、学校図書に係る支援員を配置し継続することが適当である。			

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：豊かな心と文化を育む人づくり（教育・文化）

◆ 施策9 学校教育の充実 市民一人ひとりが健康で充実した暮らしを実感できるよう、健診・相談体制の充実、市民の健康意識の高揚を図るなど健康増進活動に取り組みます。

主 な 事 業 名		実 施 内 容	担 当 課 の 評 価 (R2年度へ向けて)		評 価	コ メ ン ト
事業開始年度	R1年度事業費					
夢の教室事業		●公益財団法人日本サッカー協会のプロジェクト「夢の教室」を実施 全小学校の5年生を対象に一流スポーツ選手を講師として招き、実技や講演を通して将来の夢について学ぶ。 (講師)元プロ野球選手、元リリーガー、元陸上選手、元プロレスラー	教育総務課	現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H26～	2,471千円		子どもたちが、夢をかなえてきた大人たち(夢先生)と出会い話を聞くことによって、夢を持って学校生活を送り、将来の希望に向けて努力する契機となっており、現状のまま継続することが適当である。			
小中学校教育相談員設置事業		●市内の小・中学校に教育相談室を設置 いじめや不登校など、心に悩みをもつ児童生徒への教育相談を通し、それらの児童生徒が、学校や学級における授業や集団生活に意欲的に参加できるよう指導・援助を行う。 設置を必要とする小・中学校に校内適応指導教室を設置 心に不安を抱える児童生徒や休みがちな児童生徒に対して、各校の相談員が児童生徒や保護者に寄り添い、丁寧な教育相談活動を行なう。	教育研究所	現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H26～	28,939千円		児童生徒の安心安全を確保する心のケアを担う重要な事業である。市の重要課題である不登校児童生徒への対応について、適切な指導により効果を上げてきているため、継続することが適当である。			
スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業(いじめ・不登校対策)		●不登校対策に取り組むネットワークの中核的機能の設備 7名の臨床心理士を市カウンセラーとして設置 悩みを抱える保護者との懇談、同じ悩みを抱える保護者同士との交流場所を設定することで児童生徒を多角的に支援	教育研究所	現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H26～	1,397千円		浅野教室を中心とした各学校のスクールカウンセラーや教育相談員の連携が図れる仕組みを構築し、相談員の不安解消や情報交流、資質向上を図ることができているため、継続することが適当である。			
心理検査hyper-QU・NRT検査(全国標準学力検査)		●NRT(全国標準学力検査) 市内小学校4・5年生、中学校1・2年生で実施 児童生徒の基礎的・基本的学力が定着しているかを確認できる ●hyper-QUアンケート 小学校4・5・6年生、中学校全学年で年2回実施 児童生徒一人一人についての理解と対応方法、学級集団の状態と今後の学級経営の方針を把握することができる ●各校に講師派遣をして校内研修会を実施 NRTとhyper-QUアンケートの結果検証、活用方法を研修することで児童・生徒に合わせた教育体制を検討できる	教育研究所	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H26～	3,801千円		数値によるデータの分析とその活用方法についての研修が、教師の指導力向上や児童生徒の安心安全に寄与している。今年度は、NRT検査については小学4・5年生及び中学2年生で、ハイパーQ-U検査については小学4年生から中学3年生まで実施しているが、NRT検査について小学6年生と中学1年生を対象にすることで、小学4年生から中学3年生まで継続してクロス集計結果や経年変化を把握することが可能となるため、対象を拡大して継続することが適当である。			
児童生徒能力開花応援事業		●科学作品講座、社会科課題追究作品講座 夏休み前に講座を実施し、児童生徒の作品制作に係わる指導助言をし、夏休み中にも継続的に指導→受講者も増加しており、本講座を毎年楽しみにし、必ず参加する家族もいる ●イングリッシュキャンプ 夏休み期間中ALT15名と一緒に英語中心の生活をし異文化を学んだり、コミュニケーションを図ったりするイベントを実施 ●学力パワーアップ講座(子ども塾) 夏休み5回程度、土日を利用して、算数の苦手な児童を対象に学習サポートを行う	教育研究所	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H29～	587千円		保護者の理解に深まりが見られ、児童生徒の興味関心を広げる状況になってきており、作品展等で表彰を受ける児童生徒も増加するなど実績を伴っているの で、継続することが適当である。 昨年度から実施しているイングリッシュキャンプも好評であり現在は、今年度の成果と課題を明らかにしながら、来年度の開設講座についての検討を重ねている。			

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：豊かな心と文化を育む人づくり（教育・文化）

◆ 施策10 生涯学習の充実 市民が生涯を通じて、主体的に学ぶことができるよう、ニーズに応じた学習機会を提供するとともに、指導者の育成や施設の整備等を図ります。

指標名		単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観	市民意識調査 『生涯学習の充実』の満足度	%	21.9	26.6	16.5	21.7	23.8

※数値実績値

SDGsの位置付け



★ R2年度重点事業

主な事業名	予定事業費	事業目的	実施内容
読書推進事業	3,332千円	市民が読書に親しむため、土岐市子ども読書活動推進計画を発展させた(仮称)土岐市生涯読書推進計画を策定し、世代別に読書に関連する講座・イベント等を開催し読書に親しむ機会を提供することで「読書に親しむ街 土岐市」の実現を目指す。	●生涯読書推進計画書策定委員会組織・開催 ●推進計画策定(子ども読書活動推進計画含む) ●学校司書配置 ●朗読・講演会開催

◆ 施策11 文化・芸術の振興 市民が文化・芸術に親しむことができる環境づくりを推進するとともに、伝統文化の継承、文化財の保存・活用を図ります。
また、市民がふるさとの歴史に興味・愛着を持てるような施策を行います。

指標名		単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観	市民意識調査 『文化・芸術の振興』の満足度	%	20.8	26.0	17.7	22.6	21.0

※数値実績値

SDGsの位置付け



主な事業名		実施内容	担当課の評価(R2年度へ向けて)		評価	コメント
事業開始年度	R1年度事業費		文化スポーツ課	現状のまま継続		
史跡乙塚古墳附段尻巻古墳 保存整備事業		●古墳石室の崩落等を防ぐ措置を行い貴重な文化財を後世に伝えるとともに、周辺の環境整備を行い郷土の歴史を体感できる場として活用していく。教育振興基本計画において、文化財の保護・活用の推進として掲げた施策「指定文化財の現状等の調査を行い、修復や環境整備を行う」を実施 ・墳丘の伐採 ・シート防水 ・盛土 ・植栽客土 ・墳裾の盛土 ・排水施設設置 ・見学通路設置 ・広場の盛土 ・擁壁設置工事	古墳石室の崩落等を防ぐ措置を行い貴重な文化財を後世に伝えるとともに、周辺の環境整備を行い郷土の歴史を体感できる場として活用していくために、計画的に史跡を整備して保存と活用を図ることは重要であり、現状のまま継続することが適当である。		☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H24～	52,341千円					

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：安全で快適な暮らしを支える基盤づくり（安全・基盤）

◆ 施策12 消防・救急の充実 消防・救急体制の強化を図るとともに、火災予防の徹底や消防団活動の充実等により地域の消防力の向上を図ります。

指標名		単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観	市民意識調査 『消防・救急の充実』の満足度	%	32.4	41.5	33.0	35.8	36.0
客観	消防団員の確保率	%	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
			90.1	92.0	96.0	93.0	95.0

※数値上段:年度目標値/下段:実績値

SDGsの位置付け



主な事業名		実施内容	担当課の評価(R2年度へ向けて)		評価	コメント
事業開始年度	R1年度事業費					
消防車両整備事業		●消防の三要素(人員・施設・水利)内の施設を車両更新計画に基づき更新することにより、装備の充実及び高度化を図ることで、消防力が強化され市民の生命及び財産を災害から守るとともに、災害による被害を軽減することができる。 ・濃南CAFS付CD-1消防ポンプ自動車【国庫補助・緊援隊整備費】45,100千円 ・妻木消防団用電源照明車11,550千円 ・泉CD-1消防ポンプ自動車20,350千円	消防本部警防課	現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
	77,000千円			消防車両を更新し、消防力を維持、向上させることは、安全で快適な住民生活を維持するための重要な基盤であり、有効である。このまま継続事業として実施していくことが重要。		
消防本部等庁舎維持事業		●災害発生時の拠点施設としての機能を維持 ・空調機(室外・室内)等の機器を更新	消防本部警防課	現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
	11,340千円			消防庁舎は、防災活動拠点として重要な施設であるため、機能を維持させることは重要である。高額な費用が掛かるため、計画的に実施すること。		
消防団運営事業		●団員確保PR 操法大会、出初式等各行事を広報紙及び新聞社に情報提供し活動をPR ●消防装備の充実 全7分団にAED、チェーンソー、油圧ジャッキを配置 ●消防団活動支援 操法訓練(操法大会、出初式、団長闖団) 水防訓練、警戒活動(年末夜警、火災予防週間) 火災出動件数2件 行方不明者の搜索2日間	消防本部警防課	現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
	67,857千円			消防団装備は年々充実強化されている。今後も継続して整備していく。 消防団員数の確保は、重要な施策である。充足率95%以上を継続する。		

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：安全で快適な暮らしを支える基盤づくり（安全・基盤）

◆ **施策13 駅周辺の整備** 本市の玄関口である土岐市駅周辺は、多くの市民や来訪者が集い、ふれあうことができるように、交通・交流の結節点としてふさわしい環境整備を行います。

指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観 市民意識調査 『駅周辺の整備』の満足度	%	14.2	18.8	15.3	20.9	25.6

※数値実績値



主な事業名	実施内容	担当課の評価(R2年度へ向けて)	評価	コメント
事業開始年度 R1年度事業費				
駅前広場整備事業	●土岐市の玄関口にふさわしい駅前広場の整備、河合多治見線の拡幅整備を実施 ・駅前広場整備工事(第3期) 3月完了 ・シェルター設置工事 3月完了 ・県道部工事(交差点部、河合多治見線部分) 3月完了 ・無電柱化工事 3月完了 ・監視カメラ設置 3月完了 ・用地取得、建物補償(基金からの買戻し) 1件交渉中	都市計画課 現状のまま継続 広場整備は概ね完了できた。	☐ 有効である ☐ 継続的実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H24～	415,186千円			

◆ **施策14 道路・河川の整備** 人と車が安全で快適に移動できるよう、道路や橋梁などの整備と適切な維持管理を行います。市民の生活を浸水害から守るため、河川やため池の整備と適切な維持管理を行います。
また、市民が親しみ、潤いや安らぎを感じることができる水辺環境の整備を行います。

指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観 市民意識調査 『道路・河川の整備』の満足度	%	20.5	23.5	19.8	22.3	24.6

※数値実績値



主な事業名	実施内容	担当課の評価(R2年度へ向けて)	評価	コメント
事業開始年度 R1年度事業費				
橋梁整備事業	●改正道路法に基づく定期点検の義務化を定めた省令がH26.7.1に施行された。既設橋梁の点検を行い耐震補強・補修・架替などの整備を進めて、利用者及び周辺住民の安全性を向上させ、流通機能を確保する。また長寿命化修繕計画策定に伴い、効率的で経済的な整備を進め、橋梁の延命を図る。 ・橋梁法廷点検業務委託 1月完了 ・橋梁補修設計業務委託 3月完了 ・橋梁耐震補強補修工事9橋 3月完了	土木課 現状のまま継続 国庫補助を有効活用し、計画的に進める事業であり長寿命化修繕計画策定に伴い、効率的かつ経済的に整備を進めている。	☐ 有効である ☐ 継続的実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H19～	129,750千円			
土岐口開発に伴う周辺道路新設事業	●県道土岐南多治見インター線と開発に伴う周辺道路(国道19号オーバーパス)を結ぶ道路を新設 土岐口開発アクセス道路工事完了	土木課 現状のまま継続 土岐口開発アクセス道路工事は完了したが、土岐口財産区による造成工事は令和2年11月まで工期延期した。今後は道路開通に向けて、国・県等との協定や覚書を締結する必要がある。	☐ 有効である ☐ 継続的実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H26～	575,995千円			
肥田川改修関連事業	●岐阜県事業 県施工の一級河川肥田川に架かる市道森前橋・市道兼用管理用道路の改築工事について、協定を締結し工事費用負担割合により、それぞれ負担	土木課 岐阜県事業のため評価なし	☐ 有効である ☐ 継続的実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H28～	11,111千円			

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：安全で快適な暮らしを支える基盤づくり（安全・基盤）

◆ 施策15 上下水道の整備 水道施設の適切な維持管理や耐震化を進め、安定した水の供給を確保するとともに、水道事業の適正化や効率化を図ります。

公共下水道の整備と適切な維持管理を進めるとともに、合併処理浄化槽などの有効な利用による水洗化を促進し、快適な生活環境の確保に取り組みます。

指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観 市民意識調査 『上下水道の整備』の満足度	%	22.0	28.1	22.7	24.5	28.1

※数値実績値

SDGsの位置付け



主な事業名		実施内容	担当課の評価（R2年度へ向けて）		評価	コメント
事業開始年度	R1年度事業費		上下水道課	現状のまま継続		
配水施設改良事業		●土岐市水道事業経営戦略に基づき事業を実施し、土岐市上水道管路耐震化計画及び老朽管布設替計画、配水池等の機械、電気設備更新計画に基づき、計画的に施設の更新 公共下水道関連工事、施設改良工事、区画整理事業関連工事、消火栓設置工事完了 道路改良関連工事のうち3事業を翌年度に繰越	上下水道課	現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続的実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
	572,718千円			耐震化率はまだ40%も届かない状況にある中、耐震化事業、老朽管布設替え事業は安全・安心な水道事業には欠かせないものである。 資金計画も重要なことであるので、事業計画に基づき精力的に継続されるべきものと評価する。		
公共下水道事業		●公共下水道の計画、整備、改築更新、耐震化 処理場については、経済的かつ効率的に整備、改築更新、耐震化を実施 ・妻木南部土地区画整理関連の管渠工事	上下水道課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続的実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
S48～	313,100千円			土地区画整理関連管渠工事は、区画整理事業の道路工事の進捗に伴い、計画延長の約93%を令和2年度以降に施工することとなった。これ以外の事業については、計画のとおり年度内完了。 ストック施設については老朽化が進行している状況にあるため、今後はストックの計画的改築、更新に重点を置いて事業を進める必要がある。		
下水道管路施設長寿命化事業		●H26年度に策定した「下水道管路施設長寿命化基本計画」で「リスク高」と判定された土岐津地区約16kmの下水道管についてカメラ調査を行い、この内、緊急度の高い約3.5kmの長寿命化対策をR2年度まで行う。	上下水道課	現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続的実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H24～	164,120千円			予定事業については、計画のとおり年度内完了済み。 施設の老朽化や劣化はかなり進行している。 事業費確保も重要であるが、スピード感を持ち進めてゆく事業である。		

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：安全で快適な暮らしを支える基盤づくり（安全・基盤）

◆ 施策16 住環境・街並みの整備 市民が安心・安全で快適に生活でき、将来にわたり住み続けたいと思うことができるよう、地域ごとの課題に対応した住環境整備を行い、良好な住宅・住環境の形成を図ります。

指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観 市民意識調査 『住環境・街並みの整備』 の満足度	%	11.2	16.7	15.6	17.3	16.4

※数値実績値



主な事業名	実施内容	担当課の評価（R2年度へ向けて）	評価	コメント
事業開始年度 R1年度事業費				
都市計画基本図作成 及び基礎調査事業	●都市計画法第6条に基づく「都市計画に関する基礎調査」で、都市計画に係る最も土台となるものとして概ね5年ごとに実施するものであり、都市計画区域の現状と動向を把握するためを行う。 航空写真を用いて基本図を作成するとともに現況を把握し、合わせて基礎調査を解析することで、区域区分や地域区分の見直し等、都市計画の企画、立案、運用に資する重要な資料とする。 ・都市計画マスタープラン改訂のため、市民アンケートを実施	都市計画課 現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H29～ 6,545千円				
妻木南部土地区画整理 支援事業	●妻木南部土地区画整理組合が行う土地区画整理事業について支援を行い、土岐市土地区画整理事業助成要綱に基づき助成を行う。また、国庫補助事業である岐阜県土地区画整理事業及び市街地再開発事業補助金交付要綱に基づく県助成金について負担金を拠出する。 ・組合事業の進捗状況確認 ・埋蔵文化財調査 ・都市計画道路、区画道路築造 ・整地工事 ・移転補償	都市計画課 現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H23～ 112,776千円				

◆ 施策17 公園・緑地の整備 市民が交流や憩いの場として安全で快適に公園を利用できるよう、適切な維持管理を図るとともに、緑地の保全・活用を進め、ゆとりある市街地形成を図ります。

指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観 市民意識調査 『公園・緑地の整備』の満足度	%	22.6	25.8	19.0	24.5	25.5

※数値実績値



主な事業名	実施内容	担当課の評価（R2年度へ向けて）	評価	コメント
事業開始年度 R1年度事業費				
公園施設安全・安心 対策事業	●公園施設長寿命化計画に基づいた公園施設の改修 管理する都市公園67公園のうち、設置後15年以上経過したものは59公園 ・総合公園整備工事 ・遊具更新工事 大沼公園、榎公園、東公園 ・遊具定期点検	都市計画課 内容を見直しして継続	☐ 有効である ☐ 継続的实施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H24～ 97,689千円				

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：協働の仕組みづくり（協働・行政）

- ◆ **施策18 協働まちづくりの推進** 市民と行政がそれぞれの役割と責任を確認しながら、協働して進めるまちづくりの仕組みを構築します。また、自治会等の地域活動やNPO・ボランティア等による市民活動を支援し、行政との協働・連携によるまちづくりに取り組みます。

指標名		単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観	市民意識調査『協働まちづくりの推進』の満足度	%	10.1	11.4	10.2	10.5	10.0
客観	定住促進申請件数	件	90	90	90	90	90
			71	110	135	148	71

※数値実績値



主 な 事 業 名		実 施 内 容	担 当 課 の 評 価（R2年度へ向けて）		評 価	コ メ ン ト
事業開始年度	R1年度事業費					
まちづくり活動支援事業		まちづくりを行う多様な主体の調整役や継続母体の設置、新たな市民活動づくり支援を行い、市民が積極的にまちづくりに参画する機会を創出し、まちづくりの活性化を図る ●まちづくりプロジェクト「土岐くらしのラボ」 土岐市民の豊かな暮らしにつながる「問い」に対し市民の参加者同士で考え、そこで生まれたアイデアを実際に実行していく。現在までに7つのワークショップが活動。 ①「認知症の方とふれあう」暮らし ②「ママにやさしい」暮らし ③「うつわを楽しむ」暮らし ④「自然で遊ぶ」暮らし ⑤「地域と生きる」暮らし ⑥「ふるさとを感じられる」暮らし ⑦「市役所を楽しむ」暮らし	まちづくり推進課	現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続の実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H28～	5,032千円		協働のまちづくりのため必要な事業であり、今後も継続して実施しなければならない。まちづくり活動団体の支援を継続して行い、更なる活動の広がりを期待する。			
定住促進奨励事業		定住者（市内に住宅を取得し転入してきた者）に対して定住促進奨励金を交付 ●定住促進奨励金 新築・中古住宅の購入ともに25万円 71件申請 移住定住PRチラシを新たに作成し、東京、名古屋、大阪の岐阜県移住・交流センター及び市内不動産会社27社、近隣の住宅展示場5施設、JR土岐市駅に配架を依頼	まちづくり推進課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続の実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H24～	24,598千円		住宅購入後に制度の利用について相談するケースが多く、移住先を選ぶ際の材料とはなっていないと思われる。引き続き検証を行い、手法の見直しなども含め事業を実施する必要がある。			
空き家バンク活用事業		●空き家バンク登録・利用に関する業務 空き家等の物件の売却・賃貸を希望する所有者と、空き家等の物件の購入・賃貸を希望される利用者を市ホームページ等で結びつける。また空き家バンクを利用して賃貸物件を提供する者、賃貸・購入により居住した者のリフォーム費用を補助 新規登録4件、登録物件の契約1件	まちづくり推進課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続の実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H26～	2,000千円		空き家バンク登録件数は、前年度より増えたものの依然として目標には届かない状況である。空き家バンクの物件情報の問い合わせは何件かあるが、登録数が少ないためマッチングが困難である。空き家が有効活用されるようリフォーム補助金などの情報とあわせ積極的な周知を図る必要がある。			
婚活イベント支援事業		●結婚のための活動を支援する事業を行う者に対し支援補助金申請団体1団体 参加者24名 カップル成立数5組 ●婚活事業の広報活動 瑞浪市との連携協定により、瑞浪市で開催されたイベント2回を広報、ホームページでPR	まちづくり推進課	現状のまま継続	☐ 有効である ☐ 継続の実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
H26～	500千円		婚活イベントのみならず、スキルアップセミナーを開催するなど目的達成のため新たな取り組みがなされている。継続的な取組みを期待したい。			

★ R2年度重点事業

主な事業名	予定事業費	事業目的	実施内容
共助のまちづくり事業	574千円	自治会（町内会）については、地域のコミュニティの根幹であり、広報の配布等行政運営の中でも欠かすことができない存在であるが、自治会加入率は年々低下していつている。 自治会加入率（各年4月1日） H16…80.1%、H21…76.3%、H26…72.2%、H31…69.0% 自治会の加入率が低下していく中で、自治会の加入に関して市民の意見を聴取するとともに、各町内会に対して現状把握を行い、その結果に基づき、加入率の向上等について対策を検討していくことで、地域コミュニティを持続し、活性化ことで共助のまちづくりを進める。	●市民アンケートの分析 町内会の状況調査を実施し現状把握 ●共助のまちづくり検討会の開催 調査結果を基に対応策について学識経験者等を含めた検討会 ●自治会マニュアル、加入チラシ等の作成

第六次 土岐市総合計画【中間検証】

基本目標：協働の仕組みづくり（協働・行政）

◆ 施策19 適正な行政経営の推進 公共施設の適正な維持管理に向けた取り組みを強化するとともに、行財政改革に積極的に取り組み、行政サービスの向上や効率的で健全な行財政運営を推進します。

指標名		単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観	市民意識調査 『適正な行政経営の推進』 の満足度	%	22.3	12.1	10.2	11.3	12.8

※数値実績値

SDGsの位置付け



主 な 事 業 名		実 施 内 容	担 当 課 の 評 価（R2年度へ向けて）		評 価	コ メ ン ト
事業開始年度	R1年度事業費					
新庁舎建設事業		●旧庁舎は、昭和41年に竣工し、耐震診断においては基準を大きく下回っており、施設の狭隘化、老朽化が著しかった。新庁舎は巨大地震にも耐えうる機能を備えることにより、安全安心を確保し、誰もが利用しやすく、質の高い市民サービスを目指す。 ・新庁舎建設工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・工事監理業務	新庁舎建設対策室	事業終了	☐ 有効である ☐ 継続の実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			外構工事が完了して、新庁舎の全ての工事を終え、2月2日にグランドオープンを迎えることができた。当初工期を変更して1ヶ月ほど期間を要したが、予算面も含め概ね順調な進捗であった。			
H25～	643,230千円					

◆ 施策20 防犯の強化 犯罪のない地域社会をつくるため、行政、警察、自主防犯組織等が一体となった防犯体制を強化するとともに、市民の防犯意識の高揚を図り、地域の防犯環境の整備等を行います。

指標名		単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
主観	市民意識調査 『防犯の強化』の満足度	%	24.3	17.5	12.7	15.4	17.2

※数値実績値

SDGsの位置付け



主 な 事 業 名		実 施 内 容	担 当 課 の 評 価（R2年度へ向けて）		評 価	コ メ ン ト
事業開始年度	R1年度事業費					
土岐市空家等対策事業		●土岐市空家等対策計画に基づき、空家等の所有者に対して適切な管理を行うよう働きかける。危険な空家等については、土岐市空家等対策審議会に諮り、勧告・命令・代執行も含めた適切な処置を行っていく。 ・空き家に関する通報の対応 ・空き家の無料相談会 ・詳細調査(危険度の高い空き家の特定調査) 危険な空き家11件 取り壊し除去済2件	生活環境課	内容を見直して継続	☐ 有効である ☐ 継続の実施が必要 ☐ 手法の見直しが必要 ☐ 有効でない	
			危険空家の除去が最終解決であるが、経済的事情等により進まないケースがある。自主的除去等へ向けて、十分に所有者等に切迫した危険な状況を説明し、抱える個別の事情に合わせた解決策を提示し、協同して現状の改善に向けた道筋を見つけていくことが重要である。 周辺住民の安心・安全・防犯・防火・衛生面等の住環境保全のため、今後もより適切な事業展開が必要である。			
H29～	120千円					

2. 答申について

第2回土岐市総合計画審議会以降においても、新型コロナウイルス感染症の現在の状況を踏まえ、以下のとおり予定を組ませていただきました。

議題1. 中間検証にて皆さまからいただいたご意見を集約し、答申書（案）を作成します。案文の完成、会長へ確認後、委員の皆さまにご確認いただくと同時にパブリックコメントを実施します。

最終的に各意見を取りまとめ答申書を作成し、6月中旬を目途に市長へ提出します。

【スケジュール案】

5月15日	・第2回土岐市総合計画審議会 書面会議にて 中間検証提出
5月22日	・答申書（案）を作成（会長に案文を確認）
5月25日	・各委員へ答申書（案）を送付
5月25日～6月5日	・答申書（案）をパブリックコメント
6月12日	・各委員の意見、パブリックコメントの意見の反映 ・答申書完成 ・各委員へ答申書を送付
6月中旬	・会長から市長あてに答申書を提出

※予定は目安であり、多少前後することがあります。

（書面表決）

上記スケジュール案についてご意見をお願いします。

・スケジュール案に

賛成

・

反対

（どちらかに○をつけてください）

・コメント欄

（ご意見がありましたらご記入をお願いします）